

第13期

運用報告書(全体版)

DCワールド・ソブリンインカム 確定拠出年金専用

【2019年2月25日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「DCワールド・ソブリンインカム」は、2019年2月25日に第13期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2006年2月27日から、原則として無期限です。	
運用方針	当ファンドは、ワールド・ソブリンインカムマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に分散投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 原則として、実質外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカムマザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカムマザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益には、マザーファンドの利子・配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準、経済的合理性等を勘案して決定します。分配金は、決算日の基準価額で再投資します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配)	税 込 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
9期(2015年2月25日)	14,177	0	13.7	422.12	12.1	97.5	—	92
10期(2016年2月25日)	13,143	0	△7.3	403.27	△4.5	91.7	—	91
11期(2017年2月27日)	12,774	0	△2.8	398.96	△1.1	82.5	—	91
12期(2018年2月26日)	12,954	0	1.4	407.56	2.2	95.9	—	90
13期(2019年2月25日)	13,119	0	1.3	417.33	2.4	91.3	—	94

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期首) 2018年2月26日	円	%	ポイント	%	%	%
	12,954	—	407.56	—	95.9	—
2月末	12,952	△0.0	409.30	0.4	96.1	—
3月末	12,985	0.2	411.46	1.0	96.4	—
4月末	13,124	1.3	414.93	1.8	93.1	—
5月末	12,976	0.2	406.62	△0.2	86.1	—
6月末	13,087	1.0	410.99	0.8	93.6	—
7月末	13,168	1.7	413.18	1.4	84.4	—
8月末	13,193	1.8	413.72	1.5	97.0	—
9月末	13,308	2.7	417.96	2.6	92.5	—
10月末	13,109	1.2	411.26	0.9	90.7	—
11月末	13,226	2.1	415.12	1.9	94.3	—
12月末	13,027	0.6	412.71	1.3	91.3	—
2019年1月末	12,978	0.2	413.53	1.5	89.5	—
(期末) 2019年2月25日	13,119	1.3	417.33	2.4	91.3	—

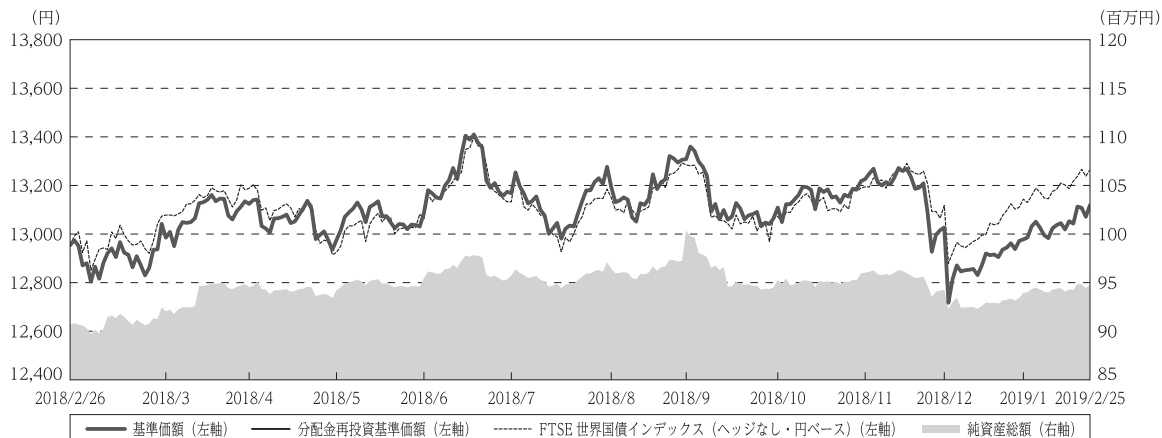
(注) 騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年2月27日～2019年2月25日)



期 首：12,954円

期 末：13,119円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 1.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2018年2月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・投資国の債券利回りが低下し、価格が上昇したこと。
- ・米ドルが対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ユーロ、オーストラリアドル、イギリスポンドが対円で下落したこと。

投資環境

(2018年2月27日～2019年2月25日)

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、米国が金融引き締め姿勢を継続したことを受けて、他の投資国も金融政策正常化の動きが意識され、2018年10月上旬にかけて、米国債を牽引役に投資国の債券利回りが上昇（価格は下落）する場面も見られました。ただ、その過程においても、米中の貿易摩擦、イタリアの政局不安、イギリスの欧州連合（EU）離脱交渉の難航、トルコリラ急落に伴う新興国市場の混乱等が、債券利回りの低下または上昇を抑制する要因として働きました。その後は、グローバル経済の減速懸念や世界的な株安を受けて、債券利回りは低下（価格は上昇）に転じました。2019年に入ると、米連邦準備制度理事会（FRB）を筆頭に主要先進国の多くの中央銀行が、金融引き締めには慎重なハト派姿勢に転じたことや、各国・地域で景気減速を示唆する指標が相次いだことなどから、債券利回りは総じて低下基調が続きました。

＜為替市場＞

為替市場では、米国が金融引き締め姿勢を継続したことを受けて、米ドル高の動きが優勢となり、2018年10月上旬にかけて、米ドルが対円で上昇する展開となりました。また、カナダドルも原油高を好感し、対円で堅調に推移しました。一方、オーストラリアドルや欧州通貨は、米中の貿易摩擦、イタリアの政局不安、イギリスのEU離脱交渉の難航、トルコリラ急落に伴う新興国市場の混乱等を背景に、対円で上値の重い動きが続きしました。その後、グローバル経済の減速懸念や世界的な株安を背景にリスク回避の買いが強まり、2019年初めにかけては、投資通貨が対円で急落する場面が見られました。しかし、FRBを筆頭に主要先進国の多くの中央銀行が、金融引き締めには慎重なハト派姿勢に転じたことを受けて、その後は世界的な株高とともに投資通貨が対円で戻りを試す展開が続きました。また、期末にかけては、イギリスの合意なきEU離脱への懸念が後退し、イギリスポンドが対円で下げ幅を縮小する動きとなりました。この結果、当期においては、米ドルが対円で上昇した以外は、全ての投資通貨が対円で下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年2月27日～2019年2月25日)

＜DCワールド・ソブリンインカム＞

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

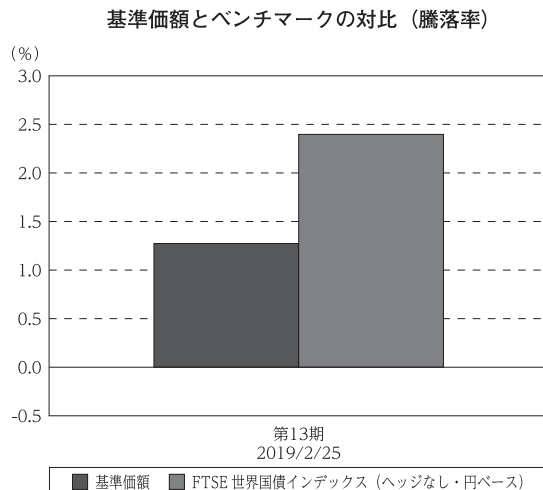
7カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、4.95年～7.20年の範囲内での推移となり、期末は6.82年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期間においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は81.1%～95.2%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期においては、ベンチマークと比較し、米ドルは総じて低め、ユーロは2018年6月以降高めの投資比率を維持しました。また、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドに関しては、期を通じて高めの投資比率を維持しました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年2月27日～2019年2月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を1.1%下回りました。ベンチマークと比較し、総じて好調なパフォーマンスとなった外国債の投資比率を高め維持したことがプラス要因となる一方、米ドル以外の外貨に対し円高が進行する中、米ドル以外の外貨の投資比率を高め維持したことがマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

分配金

(2018年2月27日～2019年2月25日)

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期間におきましては、基準価額水準、分配可能額、経済的合理性を勘案し、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第13期
	2018年2月27日～ 2019年2月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,617

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

投資国の債券市場では、グローバル経済の減速が鮮明となる中、FRBを筆頭に主要中央銀行が金融引き締めに慎重なハト派姿勢を強めていることから、引き続き利回り低下を試す場面があると見ています。また、グローバル化の進展、技術革新、世界的な流通構造の変化等を背景に、先進国の低インフレ局面が長期化する可能性が高いと予想されることも、債券利回りの上昇を抑制する要因と考えています。為替市場では、海外の主要中央銀行がハト派姿勢を強めていることは、内外金利差縮小に伴う円高要因として働きやすい反面、リスク資産の上昇を通じて円安要因として働きやすいという側面もあります。このため、当面はこの両要因による綱引きから、為替市場は方向感を探る展開になると予想しています。一方、日銀の金融緩和の長期化観測が一段と強まっており、日銀の金融政策正常化に伴う円高リスクは大幅に後退したと考えています。

(運用方針)

<DCワールド・ソブリンインカム>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年2月27日～2019年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 120	% 0.915	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(45)	(0.345)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(68)	(0.517)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.025	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	123	0.940	
期中の平均基準価額は、13,094円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年2月27日～2019年2月25日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千口 5,237	千円 10,090	千口 4,181	千円 8,070

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年2月27日～2019年2月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年2月25日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド		47,680	48,735	94,362

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千円 94,362	% 99.0
コール・ローン等、その他	993	1.0
投資信託財産総額	95,355	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（71,352,245千円）の投資信託財産総額（82,008,231千円）に対する比率は87.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝110.78円、1カナダドル＝84.33円、1ユーロ＝125.69円、1イギリスポンド＝144.76円、1オーストラリアドル＝79.32円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年2月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	95,355,466
コール・ローン等	992,949
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド(評価額)	94,362,517
(B) 負債	566,161
未払解約金	122,161
未払信託報酬	437,873
未払利息	1
その他未払費用	6,126
(C) 純資産総額(A-B)	94,789,305
元本	72,254,002
次期繰越損益金	22,535,303
(D) 受益権総口数	72,254,002口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,119円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,3119円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は70,004,657円、期中追加設定元本額は10,448,779円、期中一部解約元本額は8,199,434円です。

○損益の状況 (2018年2月27日～2019年2月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 288
受取利息	2
支払利息	△ 290
(B) 有価証券売買損益	1,910,790
売買益	2,071,180
売買損	△ 160,390
(C) 信託報酬等	△ 878,835
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,031,667
(E) 前期繰越損益金	7,926,947
(F) 追加信託差損益金	13,576,689
(配当等相当額)	(23,995,797)
(売買損益相当額)	(△10,419,108)
(G) 計(D+E+F)	22,535,303
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	22,535,303
追加信託差損益金	13,576,689
(配当等相当額)	(24,020,701)
(売買損益相当額)	(△10,444,012)
分配準備積立金	23,793,543
繰越損益金	△14,834,929

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第13期
(a) 配当等収益(費用控除後)	3,343,532円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	24,020,701円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	20,450,011円
分配対象収益(a+b+c+d)	47,814,244円
分配対象収益(1万口当たり)	6,617円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2019年2月25日現在)

<ワールド・ソブリンインカム マザーファンド>

下記は、ワールド・ソブリンインカム マザーファンド全体(40,383,648千円)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
国債証券	1,000,000	1,048,840	1.3	—	—	—	—	1.3
合 計	1,000,000	1,048,840	1.3	—	—	—	—	1.3

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第48回利付国債(20年)	2.5	1,000,000	1,048,840	2020/12/21
合 計		1,000,000	1,048,840	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	190,000	205,281	22,741,134	29.1	—	18.2	1.7	9.2
カナダ	千カナダドル 74,000	千カナダドル 82,643	6,969,347	8.9	—	4.6	3.2	1.1
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	79,000	106,488	13,384,484	17.1	—	9.5	7.7	—
フランス	93,000	114,898	14,441,583	18.5	—	13.2	—	5.3
イギリス	千イギリスポンド 31,000	千イギリスポンド 38,229	5,534,086	7.1	—	2.6	4.5	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 87,000	千オーストラリアドル 96,041	7,618,004	9.7	—	2.8	7.0	—
合 計	—	—	70,688,641	90.4	—	50.8	24.0	15.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

DCワールド・ソブリンインカム

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日	
			利 率	額面金額	評 価 額			
					外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円		
	国債証券	US TREASURY N/B 2.25	2.25	12,000	11,869	1,314,923	2024/1/31	
		US TREASURY N/B 3	3.0	5,000	4,982	551,995	2049/2/15	
		US TREASURY N/B 3.125	3.125	38,000	39,508	4,376,710	2028/11/15	
		US TREASURY N/B 3.125	3.125	48,000	48,975	5,425,450	2048/5/15	
		US TREASURY N/B 3.625	3.625	13,000	13,275	1,470,630	2021/2/15	
		US TREASURY N/B 6.25	6.25	26,000	34,900	3,866,325	2030/5/15	
		US TREASURY N/B 8.5	8.5	15,000	15,847	1,755,625	2020/2/15	
		US TREASURY N/B 8.75	8.75	33,000	35,922	3,979,472	2020/8/15	
小	計					22,741,134		
カナダ				千カナダドル	千カナダドル			
	国債証券	CANADA-GOV'T 2	2.0	25,000	25,229	2,127,624	2028/6/1	
		CANADA-GOV'T 3.5	3.5	10,000	10,212	861,236	2020/6/1	
		CANADA-GOV'T 3.5	3.5	14,000	17,817	1,502,575	2045/12/1	
		CANADA-GOV'T 9.75	9.75	25,000	29,383	2,477,910	2021/6/1	
小	計					6,969,347		
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ			
	ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 1.25	1.25	11,000	12,554	1,578,005	2048/8/15
			DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	32,000	46,241	5,812,106	2028/7/4
			DEUTSCHLAND REP 6.25	6.25	36,000	47,691	5,994,372	2024/1/4
	フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	24,000	28,968	3,641,048	2027/10/25
			FRANCE O. A. T. 3.25	3.25	10,000	14,037	1,764,360	2045/5/25
			FRANCE O. A. T. 6	6.0	28,000	39,047	4,907,832	2025/10/25
			FRANCE O. A. T. 8.5	8.5	31,000	32,845	4,128,342	2019/10/25
小	計					27,826,067		
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド			
	国債証券	UK TSY GILT 3.5	3.5	10,000	13,777	1,994,387	2045/1/22	
		UK TSY GILT 8	8.0	21,000	24,452	3,539,699	2021/6/7	
小	計					5,534,086		
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 2.75	2.75	14,000	14,800	1,173,943	2028/11/21	
		AUSTRALIAN GOVT. 4.5	4.5	10,000	12,724	1,009,299	2033/4/21	
		AUSTRALIAN GOVT. 5.75	5.75	63,000	68,516	5,434,761	2021/5/15	
小	計					7,618,004		
合	計					70,688,641		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド
 第16期 運用状況のご報告
 決算日：2018年3月26日

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」は、2018年3月26日に第16期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	(ベンチマーク) 期 騰 落	中 率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
12期(2014年3月25日)	17,551	8.4	377.74	9.5	93.5	—	112,465
13期(2015年3月25日)	20,179	15.0	422.02	11.7	96.7	—	119,019
14期(2016年3月25日)	19,201	△ 4.8	411.68	△ 2.5	90.0	—	105,452
15期(2017年3月27日)	18,209	△ 5.2	397.19	△ 3.5	85.2	—	92,361
16期(2018年3月26日)	18,811	3.3	406.51	2.3	90.2	—	83,339

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

(注) シティ世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）に名称変更となりました。

○当期中の基準価額と市況等の推移

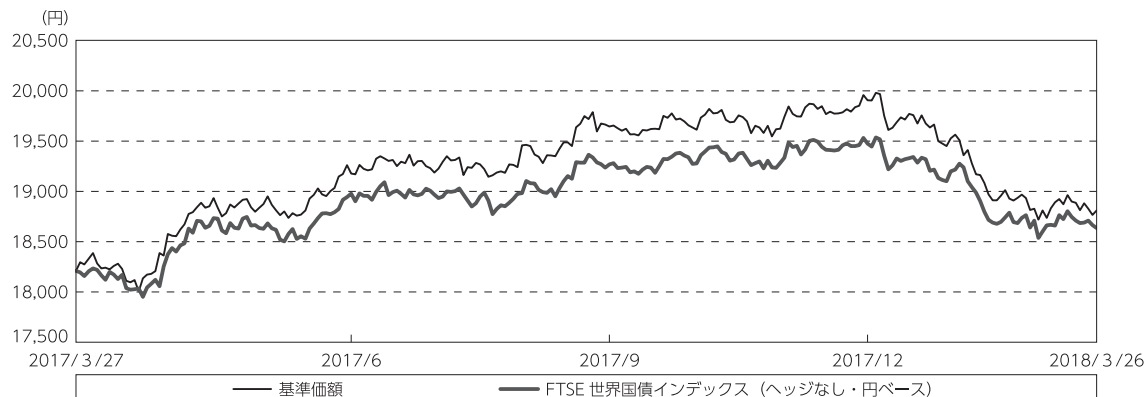
年 月 日	基 準 価 額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2017年3月27日	円 18,209	% —	ポイント 397.19	% —	% 85.2	% —
3月末	18,387	1.0	397.73	0.1	85.2	—
4月末	18,555	1.9	401.38	1.1	96.5	—
5月末	18,838	3.5	406.50	2.3	92.8	—
6月末	19,177	5.3	413.97	4.2	90.1	—
7月末	19,187	5.4	413.73	4.2	92.1	—
8月末	19,463	6.9	416.67	4.9	94.2	—
9月末	19,644	7.9	420.28	5.8	97.3	—
10月末	19,613	7.7	420.50	5.9	94.7	—
11月末	19,623	7.8	420.62	5.9	89.6	—
12月末	19,906	9.3	424.77	6.9	92.0	—
2018年1月末	19,449	6.8	416.65	4.9	85.7	—
2月末	18,933	4.0	409.30	3.0	96.5	—
(期 末) 2018年3月26日	18,811	3.3	406.51	2.3	90.2	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年3月28日～2018年3月26日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。
 (注) ベンチマークは、期首（2017年3月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因および主なマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ユーロとイギリスポンドが対円で上昇したこと。
- ・カナダを除く投資国において、保有債券からの利息収入と保有債券の価格変動に伴う損益の合計がプラスとなったこと。

(主なマイナス要因)

- ・米ドル、オーストラリアドル、カナダドルが対円で下落したこと。
- ・カナダ国債の利回りが上昇し、価格が下落したこと。

投資環境

(2017年3月28日～2018年3月26日)

<投資国の国債市場>

投資国の国債市場では、各中央銀行の金融政策の正常化への動きが利回りの上昇（価格は下落）要因として意識されたものの、地政学リスクへの懸念や各国・地域のインフレ率が低水準で推移したことなどから、2017年12月中旬頃までは、長期債利回りが総じてレンジ内でもみ合う展開となりました。その後、米国では減税法案成立や連邦政府の債務上限の大幅引き上げなどを受けて、インフレ懸念や財政赤字拡大への懸念が高まり、2018年2月中旬にかけて、米国債主導で投資国の長期債利回りが上昇しました。しかしその後は、米政権の通商面での強硬姿勢を背景に、世界的な株安とともに投資家のリスク回避姿勢が強まり、投資国の長期債利回りが低下（価格は上昇）傾向となりました。一方、日本国債に関しては、日銀の長短金利操作の影響から、当期間を通じて小動きに終始しました。

<為替市場>

為替市場では、フランス大統領選挙を受けてユーロ圏の政治リスクが後退したことや、ユーロ圏の景気回復基調が続いたことなどから、ユーロが対円で大幅に上昇する展開となりました。一方、米ドルは、トランプ政権の政権運営に対する懸念の高まりや北朝鮮との対立激化等を背景に、2017年9月上旬までは対円で上値の重い展開が続きました。その後、北朝鮮情勢に対する懸念が徐々に和らいだことや、世界的な株高を受けて投資家のリスク選好の動きが強まり、2018年1月初旬頃までは、米ドルを含め投資通貨に対し総じて円安傾向となりました。しかし、2月に入り、世界的に株価が急落すると、安全資産として円を買う動きが優勢となり、投資通貨に対し円が全面高の展開となりました。その後、株価が上昇に転じる場面でも円安方向への戻りは鈍く、期末にかけては、再び円高傾向が強まることとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2017年3月28日～2018年3月26日)

7カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション^{*}を変化させました。デュレーションは、6.02年～7.73年の範囲内での推移となり、期末は7.11年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期間においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は80.9%～95.1%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。米ドル、ユーロともに、投資環境の変化に留意し投資比率を調整しましたが、当期間においては米ドル安・ユーロ高を想定し、2018年2月中旬頃までは、ベンチマークと比較し、米ドルの投資比率を総じて低めとする一方、ユーロの投資比率を総じて高めで推移させました。また、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドに関しては、ベンチマークと比較し、高めの投資比率を維持しました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

^{*}デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年3月28日～2018年3月26日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を1.0%上回りました。為替要因では、ユーロとイギリスポンドの上昇局面において、ベンチマークと比較し、両通貨の投資比率を高めに維持したことがプラス要因となりました。債券要因では、ユーロ圏の国債の中で、低調なパフォーマンスとなったドイツ国債の投資比率を高めに維持する一方、好調なパフォーマンスとなったイタリア国債への投資を見送ったことがマイナス要因となりました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の国債市場では、グローバル経済の拡大が続く中、米連邦準備制度理事会（FRB）を筆頭に海外の主要中央銀行が金融政策の正常化に向けて動き始めていることは、引き続き投資国の債券利回りの上昇要因として働きやすいと見ています。一方、グローバル化の進展、技術革新、世界的な流通構造の変化等を背景に、先進国の低インフレ局面が長期化する可能性が高いと予想されることや、各国の年金基金を中心に長期債や超長期債への投資ニーズが強いことから、債券利回りの上昇余地は限定的と考えています。また、株価などのリスク資産が不安定な動きを続ける場面では、債券市場へ投資資金が流入しやすく、利回りが低下する展開も想定されます。為替市場においては、FRBの金融政策スタンスが概ね為替市場に織り込まれる中、今後は欧州中央銀行（ECB）など他の中央銀行による金融政策の正常化の動きが意識されやすく、中長期的なドル安基調継続を想定しています。また、足元で米政権が通商面での強硬姿勢を鮮明にしていることは、グローバル経済の先行き懸念を強める要因となり、安全資産として円が買われやすい局面が続く可能性があるとして予想されます。一方、日銀が現在の金融緩和策を当面継続すると見込まれることや、2017年末以降、日米の長期金利差が大幅に拡大したことは、今後のドル／円（ドルの対円レート）を支えする要因になると考えています。

（運用方針）

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年3月28日～2018年3月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.012	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	2	0.012	
期中の平均基準価額は、19,231円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年3月28日～2018年3月26日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 15,802,630	千円 8,447,335
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 734,537	千米ドル 672,692 (66,000)
	カナダ	国債証券	千カナダドル 270,233	千カナダドル 264,457
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	46,165	97,350
	フランス	国債証券	212,666	206,443
国	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 97,758	千イギリスポンド 79,636 (30,000)
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 276,098	千オーストラリアドル 301,495

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月28日～2018年3月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	191,161	4,353	2.3	182,762	1,087	0.6

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2018年3月26日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	7,000,000	7,906,985	9.5	—	6.9	2.6	—	
合 計	7,000,000	7,906,985	9.5	—	6.9	2.6	—	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第48回利付国債(20年)	2.5	1,000,000	1,072,600	2020/12/21
第54回利付国債(20年)	2.2	1,000,000	1,087,160	2021/12/20
第63回利付国債(20年)	1.8	2,500,000	2,751,900	2023/6/20
第91回利付国債(20年)	2.3	2,500,000	2,995,325	2026/9/20
合 計		7,000,000	7,906,985	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 253,000	千米ドル 261,603	千円 27,468,389	% 33.0	% —	% 23.0	% 1.0	% 9.0
カナダ	千カナダドル 56,000	千カナダドル 67,837	5,536,891	6.6	—	3.6	3.0	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	74,000	100,850	13,103,528	15.7	—	15.7	—	—
フランス	70,000	89,488	11,627,246	14.0	—	7.3	—	6.6
イギリス	千イギリスポンド 33,000	千イギリスポンド 42,455	6,310,195	7.6	—	3.6	3.9	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 34,000	千オーストラリアドル 39,197	3,179,340	3.8	—	3.8	—	—
合 計	—	—	67,225,591	80.7	—	57.1	8.0	15.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	US TREASURY N/B 2.25	2.25	32,000	30,495	3,201,975	2027/8/15	
	US TREASURY N/B 2.25	2.25	49,000	46,641	4,897,396	2027/11/15	
	US TREASURY N/B 2.375	2.375	8,000	7,918	831,468	2023/1/31	
	US TREASURY N/B 2.75	2.75	20,000	18,771	1,971,046	2047/8/15	
	US TREASURY N/B 3	3.0	32,000	31,600	3,318,000	2047/5/15	
	US TREASURY N/B 3.625	3.625	8,000	8,825	926,625	2044/2/15	
	US TREASURY N/B 6.25	6.25	34,000	45,825	4,811,690	2030/5/15	
	US TREASURY N/B 9	9.0	25,000	26,114	2,741,997	2018/11/15	
	US TREASURY N/B 9.125	9.125	45,000	45,411	4,768,189	2018/5/15	
小 計					27,468,389		
カナダ			千カナダドル	千カナダドル			
国債証券	CANADA-GOV'T 1.5	1.5	8,000	7,597	620,089	2026/6/1	
	CANADA-GOV'T 3.5	3.5	7,000	8,666	707,347	2045/12/1	
	CANADA-GOV'T 8	8.0	16,000	20,626	1,683,539	2023/6/1	
	CANADA-GOV'T 9.75	9.75	25,000	30,947	2,525,914	2021/6/1	
小 計					5,536,891		

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 2.5	2.5	15,000	19,746	2,565,617	2044/7/4
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	14,000	19,916	2,587,774	2028/7/4
		DEUTSCHLAND REP 6.25	6.25	45,000	61,187	7,950,137	2024/1/4
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	9,000	10,757	1,397,666	2027/10/25
		FRANCE O. A. T. 4.5	4.5	11,000	17,875	2,322,541	2041/4/25
		FRANCE O. A. T. 6	6.0	13,000	18,504	2,404,284	2025/10/25
		FRANCE O. A. T. 8.5	8.5	37,000	42,351	5,502,753	2019/10/25
小 計						24,730,774	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 3.5	3.5	15,000	20,461	3,041,170	2045/1/22
		UK TSY GILT 8	8.0	18,000	21,994	3,269,024	2021/6/7
小 計						6,310,195	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 4.25	4.25	20,000	22,418	1,818,372	2026/4/21
		AUSTRALIAN GOVT. 4.5	4.5	14,000	16,779	1,360,967	2033/4/21
小 計						3,179,340	
合 計						67,225,591	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年3月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	75,132,576	90.2
コール・ローン等、その他	8,207,334	9.8
投資信託財産総額	83,339,910	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (68,341,684千円) の投資信託財産総額 (83,339,910千円) に対する比率は82.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=105.00円、1カナダドル=81.62円、1ユーロ=129.93円、1イギリスポンド=148.63円、1オーストラリアドル=81.11円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年3月26日現在)

項 目	当 期 末 円
(A) 資産	83,339,910,482
コール・ローン等	7,066,098,852
公社債(評価額)	75,132,576,566
未収利息	897,260,847
前払費用	243,974,217
(B) 負債	42,713
未払利息	12,988
その他未払費用	29,725
(C) 純資産総額(A-B)	83,339,867,769
元本	44,304,542,179
次期繰越損益金	39,035,325,590
(D) 受益権総口数	44,304,542,179口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,811円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,881円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は50,724,070,878円、期中追加設定元本額は147,932,194円、期中一部解約元本額は6,567,460,893円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣)	42,436,734,771円
Wソブリン毎月分配型(一般投資家私募、適格機関投資家転売制限付)	922,092,779円
私募ソブリン15-01 (適格機関投資家専用)	482,055,068円
私募ソブリン07-04 (適格機関投資家専用)	229,740,955円
ソブリンオープン (適格機関投資家専用)	140,879,611円
DCワールド・ソブリンインカム	48,040,663円
ワールド・ソブリンインカム (1年決算型)	44,998,332円

○損益の状況 (2017年3月28日～2018年3月26日)

項 目	当 期 円
(A) 配当等収益	3,564,074,492
受取利息	3,566,756,973
支払利息	△ 2,682,481
(B) 有価証券売買損益	△ 318,591,259
売買益	5,884,636,045
売買損	△ 6,203,227,304
(C) その他費用等	△ 10,774,015
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,234,709,218
(E) 前期繰越損益金	41,637,748,912
(F) 追加信託差損益金	134,307,806
(G) 解約差損益金	△ 5,971,440,346
(H) 計(D+E+F+G)	39,035,325,590
次期繰越損益金(H)	39,035,325,590

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

インデックスの名称変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2018年1月26日)

〈当ファンドのベンチマークについて〉

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。